

消防計画

日常の防火対策

防火管理者の責務	防火管理者 職名(氏名)	<ul style="list-style-type: none"> — 消防計画の作成、検討及び変更 — 火気の使用又は取扱いに関する指導及び監督 — 防火避難施設、火気使用設備器具、危険物施設等の点検の実施及び監督 — 電気配線、電気機器、機械設備等の管理安全確認 — 消防用設備等の点検実施及び監督 — 通報、消火、避難訓練の実施 — オーナーに対する助言及び報告 — 避難通路、階段の物品障害防止、避難経路図の掲出など避難施設の管理 — その他、放火火災の予防措置など防火管理上必要な事項 																
火気管理	階・用途毎の火元責任者は次による。場 所（責任者） _____（ _____ ）・ _____（ _____ ） _____（ _____ ）・ _____（ _____ ） 火元責任者は、全ての火気類について点検・管理を行う。 工事中の火気使用の制限及び立会いなどの安全計画の策定。																	
避難	階段、廊下、出入口等には物を置かない。 防火戸、防火シャッターは、正常に作動するか確認する。 収容人員に応じた安全な避難管理を行う。（最大収容人員 _____ 名）																	
消防用設備等	消防用設備等の外観点検及び機能点検を6ヶ月毎に行い、総合点検を1年毎に実施する。 点検結果を _____ 年に1度 _____ 月に消防署に報告する。 点検は、（ _____ ）に行わせる。 防火避難施設、火気設備、危険物、電気及び機械設備の点検を実施する。	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">消火器</td> <td style="width: 25%;">誘導灯</td> <td style="width: 25%;">漏電火災警報器</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>非常ベル</td> <td colspan="3">自動火災報知設備</td> </tr> <tr> <td>避難器具</td> <td colspan="3">屋内消火栓設備</td> </tr> <tr> <td> </td> <td colspan="3"> </td> </tr> </table>	消火器	誘導灯	漏電火災警報器		非常ベル	自動火災報知設備			避難器具	屋内消火栓設備						
消火器	誘導灯	漏電火災警報器																
非常ベル	自動火災報知設備																	
避難器具	屋内消火栓設備																	
訓練	自衛消防隊が災害時、速やかに活動を行えるよう訓練を実施する。 通報訓練 — 館内の電話、その他による119番通報訓練 消火訓練 — 水バケツ、消火器、屋内消火栓設備の操作訓練 避難訓練 — 非常ベルの使用、館内放送の使用、避難器具の使用、避難経路の確認 避難訓練及び消火訓練を年2回以上実施する。 訓練を行う場合は、消防署に届出し、その結果を報告する。 <div style="text-align: right;">（「消防訓練実施計画書」）</div>																	

本計画は、見やすい場所に掲示すること。

火災（災害）時の対応

自 衛 消 防 組 織	自衛消防隊長	通報担当者	(大声、館内放送) みんなに知らせる。 119番通報する。(内線電話は「0」を回してから)
	職名(氏名)	職名(氏名)	ポイント 火事です! ___条___丁目の_____です。 近くに_____があります。 _____階の_____が燃えています。 通報した電話は(番号) _____ ~ _____です。
	夜間の連絡先	初期消火担当	消火器等を使用する。
		職名(氏名)	ポイント ピンを抜く。 ホースを向ける。 レバーを握る。 天井へ燃え移ったら消火を中止し避難する。
		避難誘導担当	避難器具の使用も考え、安全な場所へ誘導する。
		職名(氏名)	ポイント 物品持ち出しよりも、まず避難! 命令口調! ハンカチを利用し、低い姿勢で。 非常口へ誘導し「ここから逃げて下さい!」 防火区画の構成として防火戸を閉める。

夜間、休日等の火災、その他の災害が発生した場合は「夜間、休日における自衛消防組織編成表」により初期活動を行うものとする。

緊 急 連 絡 先 等	火災・救急	119	1 地震を感じたら、まず使用している火とガスを消す。 2 あわてて屋外へ飛び出さない。(ガラスの落下に注意!) 3 ラジオ、テレビからの情報を集める。 (緊急以外の電話は使用しない。) 4 人数を把握し、安全な場所へ避難する。 避難場所(_____)へ誘導する。 5 その他、被害の防止・軽減に努める。
	ガス会社	~	
	石油会社	~	
	夜間連絡先	~	

適用範囲及び適用時期 この計画は、_____に勤務し、又は出入りする全ての者に対して適用し、平成___年___月___日から実施する。